

あなたもお読みください
 真実つたえ希望はこぶ
 しんぶん 赤旗
 日刊 1カ月 3,497円
 日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
 電話 78-0943 (高橋)
 08051428896 (大場美広)
 (毎月赤旗読者に配達)
 (民報のみは月100円)
 発行 日本共産党・手良支部

戦後最大の平和と民主主義の岐路に立たされている

「手良9条の会」総会・講演会

「手良9条の会」(会員102名)は終戦記念日の月、8月24日夜に総会・講演会・懇親会を行いました。

野口区の大々なイベントの「二十二夜様」がありました。有線放送など一般にも参加を呼びかけたので会員外の6名を含め20人が参加しました。

総会では昨年6月以降の活動として、総会・講演会・懇親会の開催、「憲法9条を守ろう」の看板の書きかえ、新聞意見広告の取り組み等が報告され、今後の活動方針として総会・講演会・懇親会の開催、「手良9条の会ニュース」の発行、憲法9条を守る県民過半数署名、戦争体験記の収録などが確認されました。

講演会では宮下与兵衛氏(首都大学東京・特任教授)が「集団的自衛権と改憲―日本が戦争する国になるのか」と題して話されました。宮下氏は自民党の憲法草案について平和憲法をどのようにしようとしているのか触れ、安倍首相が戦前の富国強兵、国家統制の教育路線を推進しており、戦争の出来る国にして、国防軍を持ち、将来は徴兵制も狙っている旨を指摘。

環太平洋連携協定(TPP)に加入すれば国民皆保険制度もなくなるだろうと述べ、戦後最大の平和と民主主義の危機の時であり、今こそ、「戦争反対」「TPP反対」の声を全国津々浦々から国会へ届け、子ども、孫たちの未来を守るためにと訴えました。



講演会

よしひろ通信

うたごえ運動 2

先月号に続いて「うたごえ運動」の活動を紹介します。

毎年夏が近づくと、原水爆禁止をめざす集会や平和行進、いわゆる原水禁運動と母親大会が全国各地で開かれます。この二つの運動と並んで、日本で世界に誇る三つの平和運動として「うたごえ運動」が挙げられます。

誕生は「うたごえ」の方が少し早く、1948年1月、声楽家 関鑑子(あきこ)さんの指導で当時の「青年共産同盟(青共)」内に「共産中央合唱団」が創設されたのが始まりとされます。(詳しくは、新日本出版「グレート・ラブ 関鑑子の生涯」をお読みください)

その後、「中央合唱団」として「青共」から独立して活動を始め、この伊那の地にも団員が合唱団創りの為に訪れ誕生したのが現在の「うたごえサークルささむし」の前身「上伊合唱団」だったとされています。

はつきりした時期は解りませんが、もう60年近くになります。長野県内で当時からずっと活動を続けているのは長野合唱団と「ささむし」だけです。

各地で「うたごえ喫茶」がブームとなり、労働組合でも若者の集まりなど、いつでも何処でも、歌声が響いていました。

それがあまり聞かれなくなってきた理由はいくつかあると思えますが、同時に労働者の団結が壊され、人々の心がバラバラにされて来たような気がしています。

「歌を歌っているだけでは大きな石を持ち上げられない。歌は石を持ち上げようとする人たちの心一つにし、励ますことができる」と言われました。

今、日本を再び海外で戦争できる国にしようとする動きを強め、沖縄の辺野古への米軍基地建設を強行する。あれほど危険な原発を多くの国民の反対を押し切って再稼働しようとする。消費税をさらに引き上げようとする。福祉や医療を後退させ、金儲けの餌食にする。

悪さを挙げきれないほどの悪い政府を打ち倒す為に、皆で力を合わせ、心を励ます歌声を響かせたいと思います。

日本共産党
 安心・安全まっすぐの責任者
 大場美広

がんばれ手良っ子 小学校運動会

手良小学校(生徒数140名)の運動会は秋空にすじ雲が浮かび、涼しい風のある日、9月13日に万国旗の下行われました。

今年の運動会のスローガは「太陽のように熱く、赤組」「白馬のようにかめけろ」「白組」。

6年生マーチングバンドで元気にオーブン。「がんばれ手良っ子」の横断幕を持って行進。

応援合戦ではお互いに赤組、白組にエールを送って運動開始となりました。

初めての運動会である1年生の「かけっこ」では一人ひとり名前を呼ばれ元気に返事をしていました。

「かせ」とも「だち」では来入児23名が風車を掲げてクランドを一周しました。

1、2、3年生は子どもたちに今、大人気の「ようかい体操第一」を愉快に踊りました。

4、5、6年生の組体操「つながる仲間」つながる笑顔は手良の風が吹く手良の地で、美しく豊かな自然に囲まれた中、仲間と手をつなぎ支えあい笑顔で苦勞を讃えあう姿を表現していました。



ようかい体操第一

手良小学校(生徒数140名)の運動会は秋空にすじ雲が浮かび、涼しい風のある日、9月13日に万国旗の下行われました。

今年の運動会のスローガは「太陽のように熱く、赤組」「白馬のようにかめけろ」「白組」。

6年生マーチングバンドで元気にオーブン。「がんばれ手良っ子」の横断幕を持って行進。

応援合戦ではお互いに赤組、白組にエールを送って運動開始となりました。

初めての運動会である1年生の「かけっこ」では一人ひとり名前を呼ばれ元気に返事をしていました。

「かせ」とも「だち」では来入児23名が風車を掲げてクランドを一周しました。

1、2、3年生は子どもたちに今、大人気の「ようかい体操第一」を愉快に踊りました。

4、5、6年生の組体操「つながる仲間」つながる笑顔は手良の風が吹く手良の地で、美しく豊かな自然に囲まれた中、仲間と手をつなぎ支えあい笑顔で苦勞を讃えあう姿を表現していました。

手良の敬老会は9月14日に野口で行われ75歳以上の対象者154人のうち42人が出席しました。

15日には八ツ手が74人のうち23名が、下手良は89人のうち27名が、中坪は119名のうち39名が出席しました。

手良全体では436名のうち131名(約30%)が出席したことになります。

今年も手良太鼓が全区を回りました。手良太鼓も子どもたちが多くなりお年寄りを力強く励ましました。

八ツ手、下手良、中坪では中坪の歩み研究委員会が製作した紙芝居「中坪村に雷電が」が上演されました。

中坪では12時から始まり、「手良の歌」の斉唱後、主催者、区長、来賓の地元市会議員のあいさつがありました。

小学生作文朗読では3人から率直な祖父母に対する感謝のことが述べられました。アトラクションでは招待者からも元気で若々しい歌が聞かれました。

最後に老人クラブの会長よりお礼のことがありました。

第32回市民駅伝は10月13日「体育の日」に午前9時スタートで伊那市陸上競技場で行われますが8月23日に手良公民館で手良チーム選手・役員の間合式がありました。

子どもの部 男子2名、女子3名、地区の部 男子6名、女子3名の選手が決まりましたが今年もまた地区の役員は選手の選出に苦勞があったようです。

結団式には区長、分館長、役員、地元市会議員などが出席し激励のあいさつがあり、後藤英仁監督(手良公民館体育厚生部長)が頑張ると決意を述べました。

選手は役員が付き添い、一回目は30日4時から手良で4回位、現地で3回位の練習があるようです。

8月24日に行われた「手良9条の会」の講演会には大勢の皆さんの参加があった。いつも大勢の「二十二夜様」があったので夕アツてしまひ参加できなかった人が多く居たらしく残念至極!講師の宮下先生は日本は今、戦後最大の平和と民主主義の岐路に立たされていると警告された。戦後、日本は憲法9条があるので他国と戦争し殺すことも殺されることもなかった。この憲法の大原則を憲法改正をすることなく閣議で方向を決めてしまつたのである!こんな大事なことをなにもまままま関心が高まっているとはいえない現実もある!伊那市では現在小学校区での憲法九条を守る「九条の会」は手良、美郷、西箕輪、東春近、高遠、長谷とあり、現在立ち上げを進めている所もある。今年の3月にお互い連絡を取り合つて運動を進めて行こうと「9条の会伊那市連絡会」が結成された!今までも講演会などを行ってきたが幅広く賑やかに派手に今の時宜にかなつた方法でやろうと10月19日の日曜日の10時から1時半まで「いなっせ」多目的広場で「伊那市平和の祭典」と銘つて計画された。ステージではうたごえ、ギターやコカリナ演奏、各地区9条の会発言、戦争体験、紙芝居など、各コーナーでは模擬店、平和グッズ、掘り出し物が沢山のミニフリーマーケット、農産物など、そして平和アピール行進も。是非気軽に参加を。

(T)

